

- Colinsからサイバーポートへ情報連携について、これまで対象となるターミナルは一部に限られていました。2023年11月1日より、Colinsで保持するすべての国内ターミナルのデータがサイバーポートへ連携されるようになりました。
- 対象は下表の通りです。

対象ターミナル一覧(1/2)

港	バース	ターミナル運営会社	ターミナルコード
東京港	青海公共(山九・住友・伊勢湾・日通・第一港運)	山九株式会社	TYOAJ00C
	青海A4バース(鈴江)	エバーグリーン(鈴江)	TYOAM00C
	大井埠頭1-2号バース(ダイトー)	ダイトーコーポレーション	TYOOC02C
	大井埠頭3-4号バース(TICT)	株式会社 宇徳	TYOOE04C
	大井埠頭5号バース(東海運)	ワンハイ	TYOOF05C
	大井埠頭6-7号バース(日本郵船)	日本郵船	TYOOG06C
	品川SCバース(第一港運)	第一港運株式会社	TYOSC00C
	品川SDバース(住友倉庫)	株式会社住友倉庫	TYOSD00C
	品川SEバース(東海運)	東海運	TYOSE00C
	上組東京コンテナターミナルY1	上組	TYOYA01C
Y2ターミナル	共同利用	TYOYB02C	
横浜港	大黒T-9バース(三井倉庫)	三井倉庫株式会社	YOKDKT9C
	本牧BCバース(YPM)	YPM	YOKHBC1C
	本牧D-4バース(CMA CGM)	APL	YOKHD04C
	南本牧MC-1,2バース	共同利用(株式会社 宇徳、三菱倉庫株式会社、他)	YOKMC01C
	南本牧MC-3,4バース	共同利用(株式会社 宇徳、三菱倉庫株式会社、他)	YOKMC03C
川崎港	川崎コンテナ1号岸壁(東洋埠頭)	東洋埠頭	KWSKHC1C

対象ターミナル一覧(2/2)

港	バース	ターミナル運営会社	ターミナルコード
新潟港	東港区西埠頭(N-WTT)	N-WTT	NIHEW13C
富山港	新湊北1号岸壁(伏木富山港湾運送事業協同組合)	伏木海陸運送株式会社	FSKSN01C
大阪港	南港C-1バース(辰巳商会)	辰巳商会	OSAOC01C
	南港C-2,3,4バース(辰巳商会)	辰巳商会	OSAOC03C
	南港C-8バース(上組)	上組	OSAOC08C
	南港C-9バース(三菱倉庫)	三菱倉庫株式会社	OSAOC09C
	夢洲C-10,11,12バース(DICT)	DICT	OSAOC10C
	夢洲C-11バース(辰巳商会)	辰巳商会	OSAOC11C
神戸港	神戸PC-15,16,17バース(商船港運)	商船港運	UKBPC14C
	神戸PC-18バース(上組)	上組	UKBPC18C
	神戸PC-13バース(上組)	上組	UKBPI10C
	六甲RC-2バース(三井倉庫)	三井倉庫株式会社	UKBRC02C
	六甲RC-4,5バース(三菱倉庫)	三菱倉庫株式会社	UKBRC04C
	六甲RC-4,5バース(日東物流)	川崎汽船	UKBRC05C
	神戸RC-6,7バース(日本郵船)	日本郵船	UKBRC06C
四日市港	霞ヶ浦南埠頭W26-27(YCT)	四日市コンテナターミナル	YKKWH26C
	霞ヶ浦北埠頭W80(YCT)	四日市コンテナターミナル	YKKWH80C

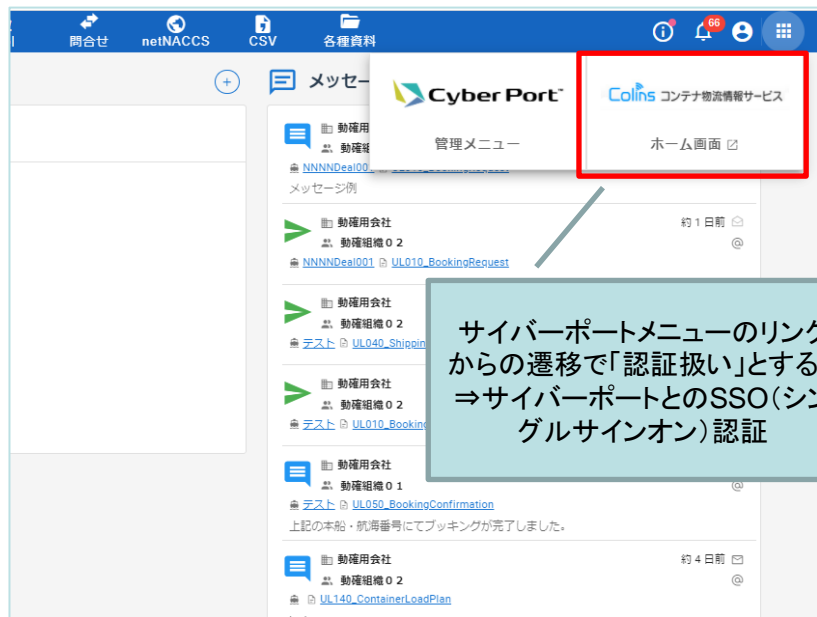
【参考】

サイバーポート-Colins連携機能について

①-1. ColinsメニューへのSSO(シングルサインオン)

サイバーポート利用者であればColinsのWebサイトが利用可能となります。
 サイバーポートのヘッダメニューのリンクをクリックすることで、別途サインイン操作をする必要なくColinsが利用できます。

サイバーポート



サイバーポートメニューのリンクからの遷移で「認証扱い」とする。
 ⇒サイバーポートとのSSO(シングルサインオン)認証

Colins



利用にあたっては、本来、会員登録及びサインイン操作が必要。
 サイバーポートのリンクから遷移した場合はサインイン不要。

①-2. 帳票画面とColins「CY搬出可否情報」画面との連携

コンテナ情報項目を有する輸入帳票の画面にColinsの「CY搬出可否情報一覧」へリンクするボタンが追加されます。

帳票項目の「B/L番号」及び「コンテナ番号」の入力を条件に、ボタンクリックすることでCY搬出可否情報の検索結果が表示されます。

サイバーポート

The screenshot shows the 'UL070: 運送依頼書 (1)' form. In the '本船' (Ship) section, the 'B/L' field contains 'BL000001'. In the 'コンテナ' (Container) section, the 'コンテナ番号' (Container Number) field contains 'CON002'. A red dashed box highlights the 'コンテナ番号' field, and a callout box points to it with the text '検索条件: コンテナ番号'. Another red dashed box highlights the 'B/L' field, and a callout box points to it with the text '検索条件: B/L番号'. A button labeled 'CY搬出可否情報一覧' is visible in the container section.

検索条件: コンテナ番号

Colins「CY搬出可否情報一覧」

注)入力されたコンテナ番号・BL番号が、Colins上に存在しないエラーが出ないにも関わらず、検索結果が表示されない場合は、CYが指定している検索条件に合っていない可能性があります。
 注)表示データが前日以前の場合がありますので、ご注意ください。
 前日以前のデータにつきましては、「取得日時」が赤字表示されます。
 注)表示されているフリータイムについては、ターミナル側で把握している情報であり、フリータイムの確定値に関しては、各船会社に直接お問い合わせ下さい。

搬出可否 △▽	コンテナ番号 △▽	B/L No. △▽	船名 △▽	ターミナル △▽	税関許可 △▽	DO △▽	フリータイム △▽	検査料 △▽	CY搬入 △▽
○	CON002	BL000001	SAMPLE	Terminal 1234	○	入手済	2022/03/07	-	搬入済

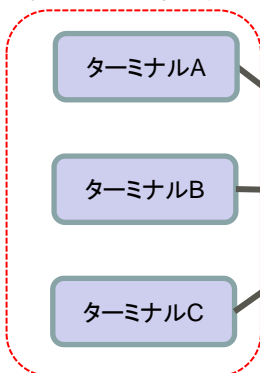
ボタンクリックで「CY搬出可否情報一覧」画面を表示

② Colins連携データの活用について

Colinsが保持する「船舶動静情報」「CY輸出コンテナ情報」「CY搬出可否情報」がCyber Portに連携されるようになります。連携データは下記1、2の方法でCyber Portの帳票データ作成に活用できるようになります。

1. 帳票GUIでの入力補助
2. 取引内データの自動更新

各ターミナル事業者



Colinsへは、ターミナル事業者各社がデータを提供している

Colins

船舶動静情報
CY輸出コンテナ情報
CY搬出可否情報

連携

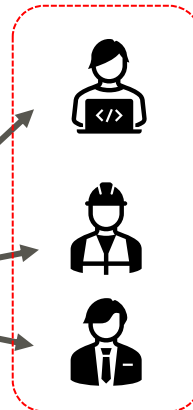
Cyber Port

船舶動静情報
CY輸出コンテナ情報
CY搬出可否情報

1. GUI入力補助
2. 取引内データの自動更新により帳票データ作成に活用
3. 連携データ参照APIの利用

取引情報
帳票情報

サイバーポート利用者(社)

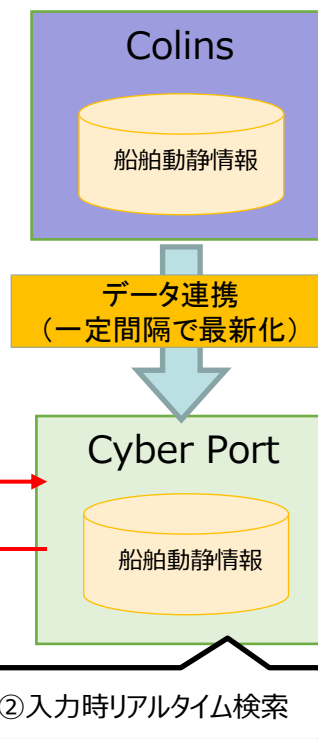


取引・帳票データ
⇒サイバーポートの利用者が作成・更新する「共有データ」

②-1. 帳票GUIでの入力補助(1/2)

GUIでの帳票作成時、入力されたキー項目(コールサイン、本船名、航海番号など)に合致する連携データが存在する場合、自動的に連携データを参照し一部項目の値がセットされます。

例) ブッキング依頼書の場合



③ETA/ETD
取得できれば自動反映

①本船名 (or コールサイン)
+ Voyage No 入力

②入力時リアルタイム検索

②-1. 帳票GUIでの入力補助(2/2)

GUIでの帳票入力時、「B/L番号」「Booking番号」から関連するコンテナ番号を選択する画面を表示し、コンテナ番号・属性の入力補助を行います。

例) 運送依頼書の場合

The screenshot shows a GUI for 'UL070 : DeliveryInstructions (1)'. It has sections for 'Vessel Information', 'B/L Information', and 'Container Information'. A callout ① points to the 'Booking No.' field containing 'KYFA012'. A callout ② points to the 'Container selection' button. A callout ③ points to a search window titled 'コンテナ選択(Colins情報から検索)' which displays a table of containers. A callout ④ points to the '選択' (Select) button in the search window. A callout ⑤ points to the 'Container No.' field in the main form, which now contains 'CON00001'.

The search window table data is as follows:

コンテナ番号	長さ	高さ	タイプ	搬出場所コード	搬出日付	搬出時刻	搬入場所コード	搬入日付	搬入時刻
<input checked="" type="checkbox"/> CON00001	20ft	8ft	GP : General purpose/ドライ	CP9999	2021-09-23	10:08	CP9999	2021-09-23	10:08
<input type="checkbox"/> CON00002	20ft	8ft	GP : General purpose/ドライ	CP9999	2021-09-23	21:43	CP9999	2021-09-23	21:43
<input checked="" type="checkbox"/> CON00003	40ft	9ft	GP : General purpose/ドライ	CP9999	2021-09-23	22:40	CP9999	2021-09-23	22:40

The flow diagram on the right shows data being transferred from 'Colins' to 'Cyber Port' via 'データ連携 (一定間隔で最新化)'.

②-2. 取引内データの自動更新

Colinsからデータが連携された際、Cyber Portの各取引データに対して最新の情報を自動で反映することができるようになります。

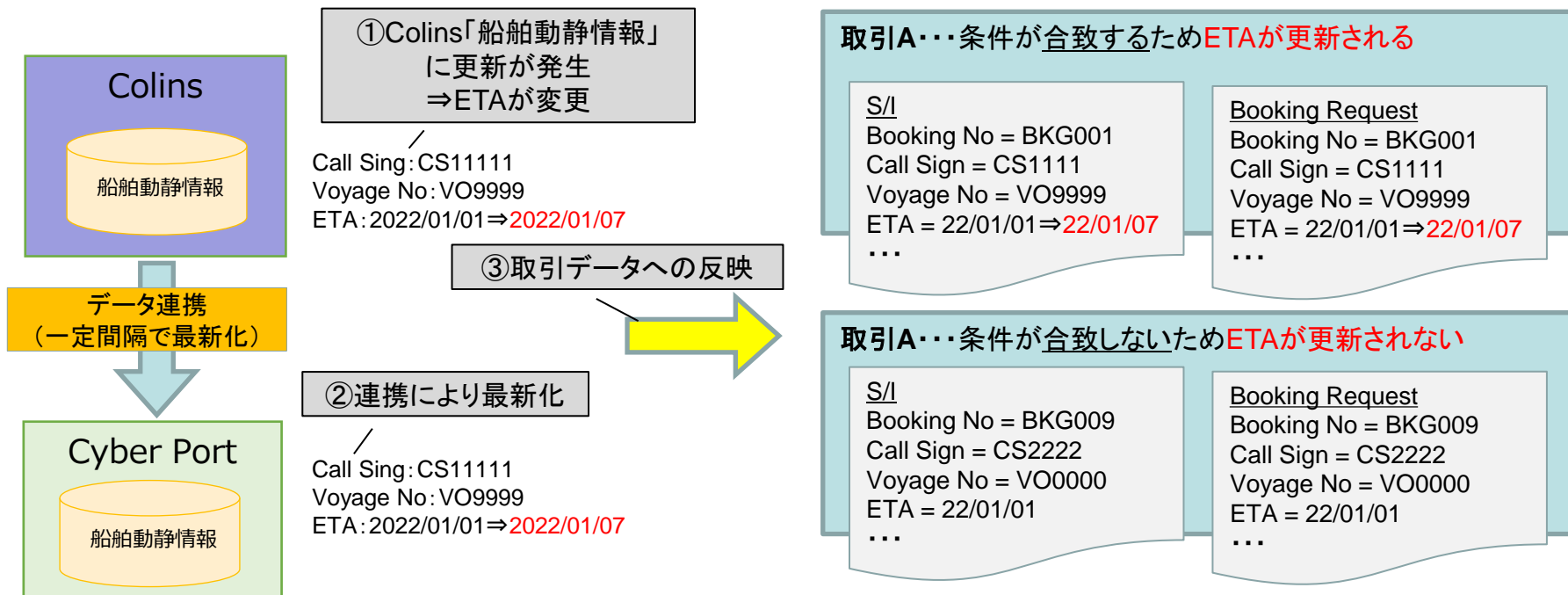
対象は取引内の各帳票間で共有されている「ルートドキュメント項目」となります。

Booking番号やB/L番号、コールサイン、本船名、航海番号などを条件にColinsでのデータ作成及び更新と連動してCY Cut/OpenやETA、ETDなどを更新します。

※自動更新処理の有効／無効は取引ごとに設定可能です。(デフォルトは無効)

取引に参加している組織であれば変更可能です。

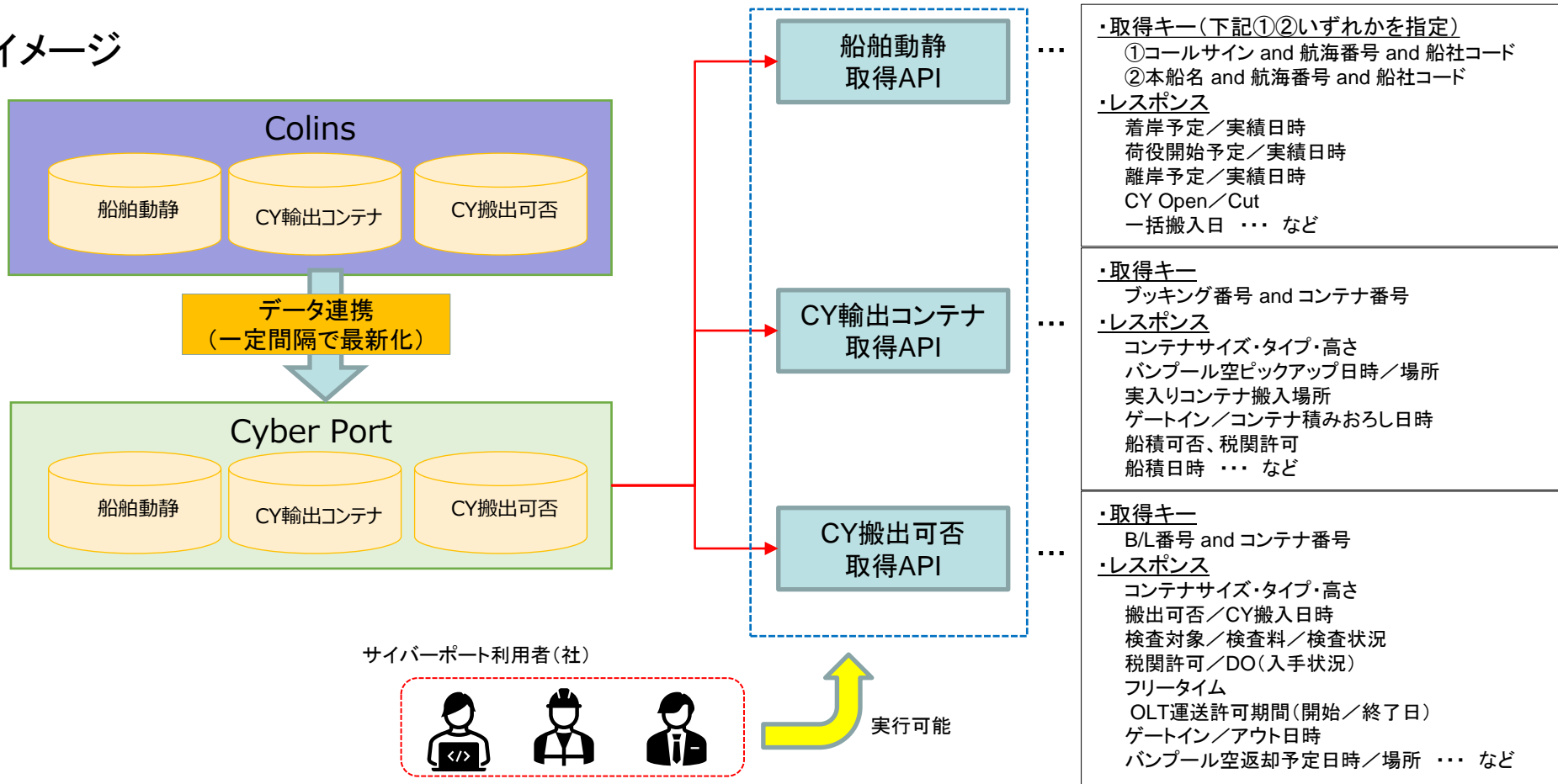
例) Colins「船舶動静情報」の更新に伴うCyber Port取引データの自動更新



②-3. 連携データ取得APIの提供

Colinsからサイバーポートへ連携された「船舶動静情報」「CY輸出コンテナ情報」「CY搬出可否情報」のデータを取得するAPIを作成し、サイバーポート利用者に公開します。

イメージ



サイバーポートの利用者であれば、APIを活用することで、Colinsからサイバーポートへ連携される各種データを自社システムに直接取り込むことができます。